

Commonwealth of Nations Quality Association

CNQA201—2009 to CNQA207—2009

Management systems certification rules

[日本]

管理體系認證規則

경영 시스템 인증 규칙

マネジメントシステム認証規則

قواعد إدارة المسائل المتعلقة بإصدار الشهادات

Sertifikasi Sistem Manajemen Aturan

प्रबंधन प्रणाली प्रमाणन नियम

Management Systems Certification Rules

Sertifikasi Sistem Pengurusan Peraturan



CNQA

Fourth edition: 10.Dec.2009

© CNQA 2009

This rule not debar possibility for modify , The document that include to among them quote from, usage document should notice the rule and related circulars of the latest edition ,If inconformity, take latest edition as to allow.

Support and help

The rules there are 16 languages, including English(EN), French(FR), German(DE), Russian(RU), Spanish (ES), Portuguese(PT), Boolean (Netherlands) (NL), Greek(EL), Chinese(ZH), Korea(KO), Japan(JA), Arabia(AR), Indonesia(ID), India(IN), the Philippines(PH) and the Malay(MY) language, etc., In order not to affect your use and understand, please select the appropriate version to read.

1.EN: Management Systems Certification Rules
2.FR: Règles de gestion des système de certification
3.DE: Managementsystem-Zertifizierung Regeln
4.RU: Правила управления системой сертификации
5.ES:Gestión de Bases del Régimen de Certificación
6.PT: Certificação do Sistema de gerenciamento de regras
7.NL: Management Systems Sertifisering Reëls
8.EL: Διαχείριση Κανόνες Σύστημα Πιστοποίησης
9.ZH:管理體系認證規則
10.KO:경영 시스템 인증 규칙
11.JA: マネジメントシステム認証規則
12.AR:قواعد إدارة المسائل المتعلقة بإصدار الشهادات
13.ID:Sertifikasi Sistem Manajemen Aturan
14.IN: प्रबंधन प्रणाली प्रमाणन नियम
15.PH: Management Systems Certification Rules
16.MY:Sertifikasi Sistem Pengurusan Peraturan

概 要

日本の地域の翻訳。

翻訳、変換日本語版のルール、CNQA 本部に英語版だけでなく、アカウントに通常の多言語、共通、普遍性と明瞭英語のかかる完全に（同じまたは他されていない直接変換）の言語が、英語の主要なノートの定義は、順番に ISO 規格との整合性を、トレーサビリティ維持するために。

ルールを公開するには、参考書類及び規格は、その下の効果があると関連して変更することは、将来の可能性を排除しない場合は、紛争当事者が優先するものとする最新のバージョンのファイルを使用しようとした場合。

技術的な監視 CNQA 限定翻訳、変換、もしあれば、欠陥や質問は、ローカルオフィスの訂正、明確化と説明ですべての大陸のルール。

HQ	Commonwealth of Nations Quality Association
エクスプローラ機関	品質の英連邦協会(CNQA)
Registered Office	品質国際認証会社の英連邦協会
認定本部	Commonwealth of Nations QA International Certification Ltd
Branch	CNQA TECHNICAL SUPERVISION ASIA LTD
ブランチ	CNQA 技術ケア（アジア）有限公司
Outstation	HONGKONG REPRESENTATIVE OFFICE
オフィスの操作	香港オフィス

目 次

CNQA201 - 2009 の認証ルール-1: アプリケーションの登録と認定.....	5
CNQA202 - 2009 の認証ルール-2: 監査.....	7
CNQA203 - 2009 の認証ルール-3: 監視の検証および再認定/再登録	10
CNQA204 - 2009 の認証ルール-4: 情報を変更.....	12
CNQA205 - 2009 の認証ルール-5: リモート評価および監査機関割り当て...	14
CNQA206 - 2009 の認証ルール-6: 証明書とロゴ	16
CNQA207 - 2009 の認証ルール-7: 出力ファイルとレコード.....	19

CNQA

CNQA201 - 2009 の認証ルール-1: アプリケーションの登録と認定

1. 目的

特定の条件は、アプリケーションの組織のために必要な書類と CNQA 評価要件を提出することを初めて正しい入力。

事項は、地元との調整、地域の代表者や駐在員事務所、またはヘルプの戻り値としてイベントの順番を復元することができない場合。

2. スコープ

認証の範囲は、顧客の要件は、業界の認証と認証に代理アクセス権の管理システムの認証、認証を含む、CNQA を適用し、他の追加情報を排除するものではない。

3. 定義されています

3.1 管理システム: 政策と目標を確立するグループの相互や相互作用の要素、これらの目標を達成するために、責任を、リソースは、プロセスは、活動は、組成物は記述されるオブジェクトの制度の調整は、評価の既存の規格に準拠して使用することができます評価。

注: 組織のマネジメントシステムは品質マネジメントシステム、財務管理システムや環境マネジメントシステムなど、さまざまな管理システムの数を含めることができます。

3.2 機関は: 法律文書の存在を証明し、責任、権限および相互関係の手配やチームのエンティティの施設を持っています。ビジネス、コミュニティ、公共サービス機関のような。

3.3 アプリケーション: 組織のルールを受け入れるように、認証を要求することで合意した自発的な行為することで合意した。

3.4 評価は: 実施適合性、妥当性や活動の有効性の資本目標を達成するために主題を決定する。

3.5 確認: 特定の用途やアプリケーションの要件については、客観的な証拠の提供を通じて、満たされている。

4. プロセスと要件

4.1 コンプライアンス CNQA を評価するため、次の条件や基準を満たさなければならない組織の認定 4.1 初期アプリケーション:

- 1) 組織の法的文書は、有効な営業許可証や批准書。
- 2) 製品およびサービスは、州法と競合しない場所営業許可証や批准の有効な測定器。
- 3) 組織必要なリソースを、環境、設備、人事関連のポートフォリオは、検証実行している。
- 4) 経営は、社会的災害組織、製品、およびサービスの発表文をクリアには至っていない

い。

5) マネージャは、適切な情報を、明確かつ正確に記入申請書の責任を。

6) 管理マニュアルおよびその他の必要な書類は、完全かつ効果的な確立。

4.2 あなたは、自己評価と明確に疑問の、訪問 www.cnqa.net の代わりにすることができます CNQA コミュニケーションと連携を理解し、オフィスやビジネスを保証できない場合は、アプリケーションをオンラインで記入して組織は、事前に申請するためには、基本的なプロセスや要件を、理解する必要があります。

4.3 契約が合意されているなどの操作に応じて受け付けるファイル、“File Sharing” の認証ルールを表示してください、申請書を提出してください。

4.4 変更は、別のメールアプリケーションが必要な場合はしてくださいが正しい提出は変更されないことを確認する必要があります、慎重に情報を確認して記入してください。5日間および地域ディレクター、または販売代理店申請される際に、以内に確認のため連絡してください。45 以上の日がリンクされていないと識別される、CNQA は、アプリケーションフォームを削除することができます。

4.5 CNQA 現地事務所は、開示することは、本人とのフォローアップ活動を伝えるために確認に必要な書類を提供し、アプリケーションを受信完了すると、有効な申請"証明書条約"およびその他の必要書類に発行された。

4.6 しかし、組織は、上記のプロセスの必要性に他のマネジメントシステム認証機関を持って最初のレビューを手配していません。

4.7 他の理由で必要な書類は、スケジューリングは、監査で提供することができる場合は、効果的な提供に失敗すると、彼は付け加えた。

CNQA202 - 2009 の認証ルール-2: 監査

1. 目的

明らかにマネジメントシステム監査計画に実施するには、通常の操作の客観的な証拠と合理的かつ効果的な得るための監査を確保するために必要な活動を調整する。

2. スコープ

CNQA は、管理システム、製品認定プログラムの認定されているその他の追加情報を排除するものではない。

事項は、地元との調整、地域の代表者や駐在員事務所、またはヘルプの戻り値としてイベントの順番を復元することができない場合。

3. 定義されています

3.1 監査: 先監査の基準は、独立した体系的かつ文書化されたプロセスに会って範囲を決定するためにそれを客観的に評価する監査証拠を得るために。

注: 管理システムの認証、および監査、検査、監査、同じ意味を確認しての分野で"監査"。

3.2 客観的な証拠: 存在やデータ、観測、測定、テスト、または他の手段利用を通じて客観的な証拠の信憑性をサポートしています。

3.3 監査基準: 規則、基準、手続や要件のセットのための基礎。

3.4 監査証拠は: 評価基準と記録、事実やその他の情報のステートメントを確認してください。監査証拠は定性的または定量することができます。

3.5 監査が見つかりました: 監査基準に照らし合わせて収集された監査証拠は、結果を評価する。監査は、監査基準に準拠することを証明している見つからないか、改善の機会。

3.6 監査の結論は: 監査チームは、監査の目的、最終的な監査の結果から派生したすべての監査結果を検討した。

3.7 修飾された (会う): 基準と概念の要件と要件、コンプライアンス満たしています。

3.8 は、修飾されていない (満たしていない場合): 要件が基準と概念の要件を満たしていない満たしていません。

4. プロセスと要件

4.1 達成の通信の評価と事業の結果の代表的な形態によれば、CNQA は仕事のためのガイドラインが CNQA 要件と一致する必要があります計画、アプリケーションデータ、ステータス、および最初の監査計画した事実の調査結果に基づいて行われます。

4.2 監査計画の代替モデルは:

- 1) 認定期間は、確認して監視し、標準的な契約条件を同じ敷地内、プロセスや製品の認定の申請を含む初期の監査は、監査の範囲として確認して年間必要はありません。
- 2) は、監査のサンプルサイズと監査チームによって識別される問題を監視し、任意の是正措置の監査監督は、過去および証明書の認証、アイデンティティアプリケーション状態に増加する；
- 3) 有効な証明書に他のマネジメントシステム認証機関のサポートではなく、最初のレビューを手配。
- 4) は場合は、段階的な評価を手配する必要がある、すべての経験と実績管理システムの認証機関を持っていない；
- 5) 特定の要件を満たすためにマネジメントシステムの認証(以下"認定規則 5"を参照してください)、Web 技術、リモート監査又は受託監査を通じて配置することができます。
- 6) 認証、a は b より以上の実装、および製品のテストの必要性を。

4.3 監査人は、任命 CNQA、認可または監査チームのメンバーの手配の長が委任による現場監査を担当し、計画、レポート、レコード、レコードという作品が CNQA ガイドラインおよびフォーマットの要件、監査と一致していなければ、他の文書を提供する目的、基準、範囲と時間が通知が優先するものとする計画を確認することができます。

4.4 通信を伴う接触、言語、行動、交通機関、宿泊施設、資源に関わるプロセス全体の証明書の監査、交換、会議、情報、メソッド、および機密性の条件、申請団体（関連スタッフを含む）と CNQA の任意のメンバ次：

- 1) 契約に達しているとルール；
- 2) 練習を受け入れた。
- 3) いつもの習慣；
- 4) 特定の国や地域ここで背景；
- 5) IAF は、CNAB と CNQA 基準；
- 6) が理解されて、現場で受け入れた。

4.5 監査の基準 CNQA、オンサイト監査の実施に応じては、コンプライアンス管理システム、効果の程度を評価し、客観的な証拠に、監査の結果に基づいて実行されている管理システムを検証し、最終的に監査チームのリーダーの推薦で、サイトの監査を行います。

4.6 監査結果と推奨事項は、次の要因に疑問を監査結果に応じて、修飾されている：

- 1) マネジメントシステムの監査および製品のテストや標準/差の度合いのための要件；
- 2) 改善の機会の程度訂正欠陥；
- 3) 可能性のあるリスク、法律互換性のある範囲への影響；
- 4) 組織のアイデンティティと基本的な情報の変化；
- 5) 画期的な製品は、法では、被害の程度で許可されて使用されます。

4.7 結論は、修飾されたかどうかは、通信する前に現場を去ったかどうかは、リーダーによって作ら会議への道の終わり近くに監査プロセスの内容の完成で見直されるべきであることを確認した。次のような状況の1つの推薦:

- 1) は、資格証明書の発行をお勧めします、
- 2) は、資格認定を維持することをお勧めします、
- 3) は、資格認定を維持するために是正措置の実施を推奨
- 4) は、撮影効果的な是正措置がとられるまでの一時停止に失敗しました
- 5) 監査を終了する障害
- 6) 証明書を取り消すことができませんでした。

4.8 ドキュメントのレコードがステートメント最初の変更情報を、アーカイブの頭、コンプライアンス CNQA 基準が提出した証拠と矛盾するなど、完全かつ効果的な監査証拠で構成され、監査プロセスを形成した。

4.9 CNQA 監査は、証拠によれば、すぐに認定の申請に通知/メッセージではなく、一ヶ月以上の最大時間の制限は通知機関により発行された最終的な結論の確認後、処分の評価、のために提出さ不可抗力を含む重大な異常がない限り、。

4.10 結論が認められている場合、および、要約レポートでは、次の監査を確認することができますか是正予防措置のエントリの要件を満たしていない入力 of 次の評価の一つとして、また、必要な所定の期間内に提出することができます是正予防措置又は証拠のプログラム。

4.11 は、結論が不十分である場合、それは検証パスまで是正予防措置又は証拠の計画に提出しなければならない。

CNQA203 - 2009 の認証ルール-3: 監視の検証および再認定/ 再登録

1. 目的

特定の証明書は、証明書、明確な監視の状態を維持し、規制要件を確認し、保証する制御された方法で処理。

2. スコープ

CNQA については、プロジェクトによって発行された登録証明書の適用される他の追加情報を排除するものではない。

事項は、地元との調整、地域の代表者や駐在員事務所、またはヘルプの戻り値としてイベントの順番を復元することができない場合。

3. 定義されています

3.1 製品に関する法的制限: 軍事、航空、ナビゲーションは、高精度、高圧力、水、鉱山は、放射線は、ブラスト、製錬、有毒で腐食性物質、専門的治療、疾病管理、検疫などの細菌重力、圧力を中心にハイリスク、高ハザードが、高防止の操作は、機器、設備、製品や副産物の出力などの主要なコンポーネントを必要とします。

3.2 信頼された要因は: その影響の程度の要因のコレクションを記述するために使用できる、その用語の公開、技術、法律、信頼性、保守性、セキュリティ、信頼性、公平性、安全、健康、正確性機密性のルールを含む国際条約の要件。

コメント: 非定量の全体的な表示の信頼性のみ。

3.3 証拠の当局は: 管理、製品および操作の組織的な側面に関連する文書によって認識される適用、許容される、認識された機関を入手してください。例では、/製品認証、プロ級の評価、特別なライセンスは、業界や国の規制は、ドキュメントやその他のドキュメントを許可する管理システムです。

コメント 1: "アプリケーション"は、ターゲットのイベントに関連付けられている本質的な証拠を指します。大気汚染、エネルギー認証と QMS 認証のようなは、関連付けられていない EMS の認証に関連付けられています。

コメント 2: "許容される"規制、技術上の基点と相違点のソースは、通常、効果的な支援とターゲットイベント、許容レベルの証拠を意味し、状況が確認できない場合は、受容性を考慮する必要が不透明使用しています。準

コメント 3: "認識されるボディは"よく、プロフェッショナルで、知られているのは機関を信頼して、両方の市場と顧客の要件の規制を意味する。

3.4 検証: 要件の客観的な証拠を提供することで満たされている。

4. プロセスと要件

4.1 組織の証明書が有効なモニタリングやサンプリング周期を受けなければならない取得するには、一般的なルールは:

- a) 正式な証拠と、一定の条件を満たしては、確認のリモート監視が提出した証拠で配置することができます。
- b) 構成は、特定のサイトの監査の範囲に属していない、特定の条件が"認証ルール 5"を参照してください。
- c) 間隔は、最初の監視監査証明書の間より前の 10 ヶ月ではなく、14 ヶ月以上で発行された。
- d) 間隔は、2 番目のサーベイランス審査証明書の間では以前発行された 22 ヶ月ではなく、以上 26 ヶ月後。
- e) 証明書の有効期限は以前よりも 2 ヶ月ではなく、2 ヶ月以上の再認証監査の間隔;

4.2 あなたはこの規則および条約の要件を満たすことができない場合は、証明書の継続的な妥当性を保証することはできません。

4.3 監督と検査は、初期認証監査範囲と監査同じであるが、標準的な用語の条件の下で分解を低減するサンプルの数を減らすために、組織の業務特性に監査チームは、計画を記録し、初回審査と同じテンプレートファイルを報告する。

4.4 サーベイランス審査再認証監査の内容、試験に応じて基準に加えて、しかし、以前の是正措置、証明書と適合性の商標の使用の検証、および組織変更、独自の情報およびコンテンツ管理システムの変更が含まれています。

4.5 監査の手配等は、特定の条件の証拠と一緒に提供するために地方公共団体を委託して/人事監査を、電子メールやビデオを含む、リモート Web 技術することができ、監査人は、資格証明書のコピーを添付する必要があります。

4.6 初回審査、メール通知機関による最終報告書と評価結果の基準に。

4.7 実装は、委託修飾リモート監査、次回の見直し委員会またはリモート監督との良好なサイクルを、貧しい人々整然またはリモートキャンセルされますと考えることができますサンプリング、オンサイトのサンプリング時間を手配する必要が効果的なサイクルで監査のアプローチ。

4.8 は、各監査後、監査人は、勧告、拡張子、懸濁液または評価報告書の失効を行う資格を有する。

4.9 は、結論が修飾されている場合は、すべての是正処置及び予防処置の用語を次の監査の検証、評価、次のいずれかに入力として満たしていません。

4.10 結論が不十分であるときは、検証に合格するまで是正予防措置又は証拠のための計画を提出する必要があります。

CNQA204 - 2009 の認証ルール-4: 情報を変更

1. 目的

特定のアプリケーションが要求を処理する際の、組織の変更処理規則、および関連する情報および推奨事項は、フィードバックを証明されています。

2. スコープ

CNQA は、組織の証明書を授与されている認証を必要とするその他の条件を除外していません。

事項は、地元との調整、地域の代表者や駐在員事務所、またはヘルプの戻り値としてイベントの順番を復元することができない場合。

3. 定義されています

3.1 スコープの変更: 管理システムの認証は、製品やプロセス増加、減少の制御を含むの範囲は、名前を変更する。

3.2 組織の変更: /アドレス、連絡先情報の変更、および、回復を停止する認証サービスの組織名、場所です。

3.3 是正処置: 一般的に是正措置を実施するための措置は、"正しい"とが含まれているため検出された不適合またはその他の望ましくない状況を除去するために"予防措置を。"

3.4 訂正するために: 障害が実装と"是正措置"と一緒に修正するための措置を排除することを確認します。

3.5 予防措置: 措置のための潜在的に望ましくない状況や他の潜在的な理由で排除するのに失敗しました。予防対策と一緒に"正しい"と"是正措置"も個別に実装することができると、することができます。

4. プロセスと要件

を含むが次のように限定されない情報の 4.1 一般的な範囲:

- a) 監査と認証ルール;
- b) 監査チームは、プロセスの手配のスケジュールを設定する計画;
- c) 是正予防措置。
- d) 文書、記録と文書;
- e) 承認とサイン許可証の証明書;

- f) フィードバックとその他の援助;
- g) 補足監査報告書および証明書;
- h) 情報を整理する変更;
- i) その他の必要な情報を表示します。

4.2 すべての変更は、“機能情報やアドバイスの”操作の Web サイトを訪問して、必要な説明を記入する必要がある場合変更の適用範囲の認定団体は、電話サービスの代表者と、情報を整理します。

4.3 と、変更の目的、内容、範囲、複雑さと重要性は、いくつかのケースが要因が信頼に影響しない場合は、新しい認証プロトコルを入力する必要があるのによると、完了するために簡単な変更されていません。

4.4 は、(是正措置、予防措置を含む、正しい、ヘルプ、質問、相談) その他の情報あり、イベントを提案販売代理店などに直接電話、電子メールの接触。

4.5 の変更、情報やアドバイス、ビジネス担当者が、次の責任のすべてのレベルで、最高指導者になるまでのエスカレーションを解決できないときは、これに対処する第一:

- a) 販売代理店: 顧客と直接取引先担当者から地域の代表者の開発。
- b) 地域代表者: 代表は、国及び地域固有のビジネスの経営者採用。
- c) オフィス: 本部は、地域の代表者で国の広い範囲を管理し、支店を設定します。
- d) 本社: CNQA 局本部、企画、管理、オフィスのスタッフ、監督、経営。

4.6 は、情報の本当の程度によると、ソリューションの時間は:

- a) 可能な電話、ネットワーク、通信および非書き込まれたイベントは、その時の為替剤。
- b) 特定の職業、またはイベントに関する一般的な質問、文書や記録、2 時間の業務担当者が必要な場合があります。
- c) 合理的な範囲内のは、歴史的または新しいドキュメントを提供する必要があるかもしれませんまたはイベントパーティーの支援を必要とする、地域の代表は 1 日、応答内で解決されます。
- d) リソースは、状況を満たしては、イベントへの応答を、地域の代表的な対応し、解決するために 3 日間議論し、評価をする必要があります。
- e) は、可能性を評価が対応し、解決するために 10 日以内に解決することができるイベントで CNQA 事務所に参加するより多くのリソースを必要とします。
- f) は、認証ルール、国の文化、国内法、商業信用、地域資源関連の事件、解決するために 30 日以内に CNQA 本社との少なくとも一方が応答含む。

CNQA205 - 2009 の認証ルール-5: リモート評価および監査 機関割り当て

1. 目的

プロセスを確実にするためにリモート監査条件および管理要件委嘱明確な監査では、状態で有効です。

2. スコープ

ルールは、主に初期の監査、監視監査と再認証監査に使用することができますマネジメントシステム認証のアジア太平洋地域（アジア太平洋地域）に適用されます。

事項は、イベントの順番を復元することができない場合は、ローカル座標しようとする、地域の代表者や駐在員事務所のヘルプを宣言した。

3. 定義されています

3.1 リモート監査: **Research on and Application of Remote Auditing System on Quality System**。品質システム上のリモート監査システムおよび応用に関する研究。Web サービス技術は、リモート監査システムの可視化に基づく。

注: 意味を持つ管理システムの認証、および監査、検査、監査、評価の分野で"監査"。

3.2 委任機関監査: 信頼の場合には、地元の機関や認証審査を申請する地方組織の登録監査人の資格。

3.3 証拠の当局は: 管理、製品および操作の組織的な側面に関連する文書によって認識される適用、許容される、認識された機関を入手してください。例では、/製品認証、プロ級の評価、特別なライセンスは、業界や国の規制は、ドキュメントやその他のドキュメントを許可する管理システムです。

3.4 自己評価は: ;自己評価は、組織のパフォーマンスと成熟度の品質マネジメントシステムの全体的なビューの種類を提供することができます。組織の活動や成果は、包括的かつ体系的な評価を実施し、優れたモデル参照管理システムやされにも役立ちます改善のための領域を識別し、組織が実施優先順位の問題を識別する。

4. プロセスと要件

4.1 とリモート監査少なくとも（ただしこれらに限定されない）、一定の条件;"主務することができる地方公共団体、登録監査人の登録監査"このレビューがなくてはならない委託

4.2 サイト固有の条件のうち操作がより整理され、距離のクロスボーダーの配布ではなく、現場監査を持ちやすいか、具体的な活動のサイトは小さいがあるが、ごく少数のケースには、次の機能と事実がある:

- 1) 製品の範囲の法的制限が生産されていません。

- 2) 自然条件に基づいて、製造プロセスは、エネルギーや化学物質を使用しません。
- 3) 製品のテストは、プロジェクトの信頼性の要因には影響しません。
- 4) ハッキリさせないと測定や規制、技術上の基準;
- 5) 技術仕様が、特殊な条件を追加するために使用限界生産物;
- 6) 組織、効果的な権限の証拠との関係を持って。
- 7) 製品の物理的、流体、ガス状物質の範囲に属していない。
- 8) 法的拘束力のある文書が組織的卓越性
- 9) 免除は、国は、製品のファイルによって付与される。
- 10) 組織自体が絶対的な真理を証明することができる、特別の理由があります。
- 11) お客様は/サービスが十分な証拠にさかのぼることができる3つ以上の製品があることを認めている。
- 12) ローカルの監査機関が登録をしている。

4.3 サイトの監査後に独自の特定の条件を決定することができない組織は、監査チームは、管理システムを評価する場合、は、信頼できる非常に有効である実施又は受託リモート検査で、次の監査をお勧めすることができます。

4.4 リモートサイトの監査評価（必須、営業担当者に役立つことができます）必要な証拠と宣言を効果的に提供する前に配置しなければならない、CNQA は、適切なクエリファイルを抽出するために適切な方法を手配する一定の条件の確立、組織のコミュニケーションの監査チームを確認する、レコードは、監査報告をしなければならない。

4.5 手配する場合は、サイトの監査には、次の審査前に、一定の条件がして、特定の条件を持っていない、再度リモート監査や見直しのための手数料を申請することができます。

4.6 監査委員会の証拠、最初のデリゲートの登録前に委託する必要がありますがあれば、協力関係を委託されており、ローカル監査機関の本部に達し、駐在員事務所に直接確認し、検証サービスの注文を送信することが連絡することができます。使用しての委託監査ファイル/レコードのテンプレートを指定します。

4.7 障害やその他の新たな政策の主な条件は、変更がこれらのパターンを調整するために適切な場合がありますが、組織が有効な状態認定証明書を変更していません。

4.8 地域の代表者は、ビジネスの代表者やローカル通信との連絡役と維持されなければならない。

CNQA206 - 2009 の認証ルール-6: 証明書とロゴ

1. 目的

CNQA は、右認定機関の動作を確認するために必要な認証を行う方法: 同じ時刻を、ステートメント、証明書は、CNQA 認証ルールと適切な証明書類の補足規定を遵守を確保するために明確な問題と、使用禁止条件および管理要件に制限をマーク継続的なコンプライアンス要件。

2. スコープ

ルールは、主に初期の監査、監視監査と再認証監査に使用することができますマネジメントシステム認証のアジア太平洋地域（アジア太平洋地域）に適用されます。

3. 定義されています

3.1 登録証明書/証明書: 認証機関は、スコープ、住所、有効期限の日付と適合性の管理システムの証明書の登録番号の名前を示す、CNQA によって発行された。

3.2 証明書は、著作権をマーク: 証明書および徴候は、いつでも、常に CNQA はすべて、管理システムの認証機関は、規則で使用することができる審査を通過した後、効果的な運用と交流を継続する。

4. プロセスと要件

4.1 証明書および証明書のステータスがルールは維持する:

- 1) 標準に基づく監査は、結論は修飾され、正しいです。
- 2) 技術上の基準に基づいて製品のテストは、結果が修飾されて適用されます。
- 3) モニタリングと再認証の最大期間を超えていない。
- 4) 監査の失敗の場合、有効になります是正措置の証拠を提供するために必要な期間をいう。
- 5) 必要書類が完全かつ効果的です。
- 6) いいえ 監査報酬後払い;
- 7) 証明書と識別のは悪質な違法、誤解を招くような使用;
- 8) 組織行動と製品の使用は、他の当事者に損傷を引き起こすことはありません。
- 9) 組織行動と災害や製品は、重大な副作用、苦情が発生しなかった。
- 10) ない法およびその他の認証を、認定ルール違反。

4.1.1 上記の条件がは、CNQA 文書はオンラインまたはメールによる通知公開されているすべ

ての証明書の受領後 30 日以内に発行されます。

4.1.2 を使用すると、上記の条件を満たすことができない場合は事件の重要度に応じて、CNQA は、発行しないように一時停止または取り消す決定の証明書とさせていただきます。

4.2 証明書および標章のを使用する

4.2.1 目的にのみ使用が承認されたロゴの範囲内で使用することができます。CNQA は、登録証明標章は、パンフレット、名刺、レターヘッド、広告などの包装、販促資料の適切な範囲に登録機関に限定され、認識された。

4.2.2 CNQA は、通常の使用、または、次の選択肢の組み合わせの登録商標、認識された：

- 認証マークが。
- 証明書番号は；
- "× × × マネジメントシステム認証を介して組織"としてシステム認証は、文を意味します。
- 製品認証は、製品内の他の側面が要件と認証マークをラベリングことを確認する。
- 法およびその他の機会に、メディア、道の規則に違反しない。

4.3 CNQA が、機会、ベクトル、方法の使用を禁止する標識を認識

- 1) レポートをテスト研究室の適合性評価、レポートは、製品認証に關与する可能性があるため。
- 2) レポートは、製品認証に關連する可能性があるため、は、校正、測定、およびその他の証明書またはレポートに使用されます。
- 3) 何も証明書類、データ、キャリアの範囲内で行う。
- 4) 製品の適合性、一貫性、コンプライアンスのレベルを意味する。
- 5) 誤解を招くような、物議を醸す、差別と非共通の理解などがあります。
- 6) その他の規則や法律は、その不適切な機会、メディア、途中で使用することができます。

4.4 CNQA 認識は、トンボは、制約を使用して：

- 1) ズームではなく、複数の組織の商標も、ロゴの仕様は 20%です。
- 2) を低減することができますが、以上の組織の商標も、ロゴのサイズは 50%です。
- 3) コピーは培地の色、モノクロ、カラー、適切な調整を使用することができます。
- 4) その他の非標準の色は、メソッドは、仕様が使用 CNQA 本部の承認の前に提起されるものと、アプリケーションは、サンプルを添付しなければならない。
- 5) 引用記事やメディアの普及では、登録のあいまいな範囲は、証明書は、アプリケーションの範囲を示す必要がある場合。
- 6) が同時に識別することが必要認定されていません。

- 7) は、他の商用ロゴを使用することは、ロゴは、すべての会社のロゴする必要があります。

4.5 CNQA 認定、登録、検査監督は、ロゴを使用する

- 1) 同社の広告、販売パンフレットやその他のプロモーション資料に使用が CNQA ことが、我々はこの体の承認を受けなければならない。
- 2) ユーザーがのコンプライアンスを確認する文書/アイテムを使用して任意の ID 管理システムに CNQA 監査へのアクセスを許可する必要があります。
- 3) あなたが基準とルール違反を発見した場合は、監査人は是正処置の警告、または問題が受注することができます。
- 4) 変更がある CNQA 場合は、代理店は 30 日以内に通知を与える、認証機関の 60 日はそれに応じて変更されます。
- 5) あなたは、ユーザーが CNQA 右は標準的な要件に達するまで、ユーザーは、ロゴの使用を停止することを要求するルールの認定要件を満たすことができないことが判明した場合。

CNQA

CNQA207 - 2009 の認証ルール-7: 出力ファイルとレコード

入力ファイル	活動とプロセス	出力レコード	プロバイダ
認証ルール 1	登録の申請	オンラインアプリケーションフォーム、ドキュメントに必要な、認証プロトコル	組織/ CNQA
認証ルール 1	レビュー	附属書、管理マニュアル、組織の法的な証拠	組織
認証ルール 2	マネジメントシステム 監査	監査計画、検査記録、監査報告書、監査結果	監査役
認証ルール 3	監督と検証	監査計画、検査記録、監査報告書、監査結果	監査役
認証ルール 4	再審	監査計画、検査記録、監査報告書、監査結果	監査役
認証ルール 4	変更	オンラインアプリケーションレコード	CNQA
認証ルール 4	情報	連絡先の電子メールと電話	CNQA
認証ルール 5	リモート監査	監査計画、自己評価報告書、宣言、証拠書類、監査報告書、監査結果	CNQA 監査役
認証ルールは 5	委員会の評価	資格、レビュー受注、監査計画、検査記録、監査報告書、監査結果の証拠	CNQA、監査を承認
認定ルール 6	-証明書とロゴ	完全なドキュメントや情報は、証明書、ウェブサイトや電子メール通知	CNQA